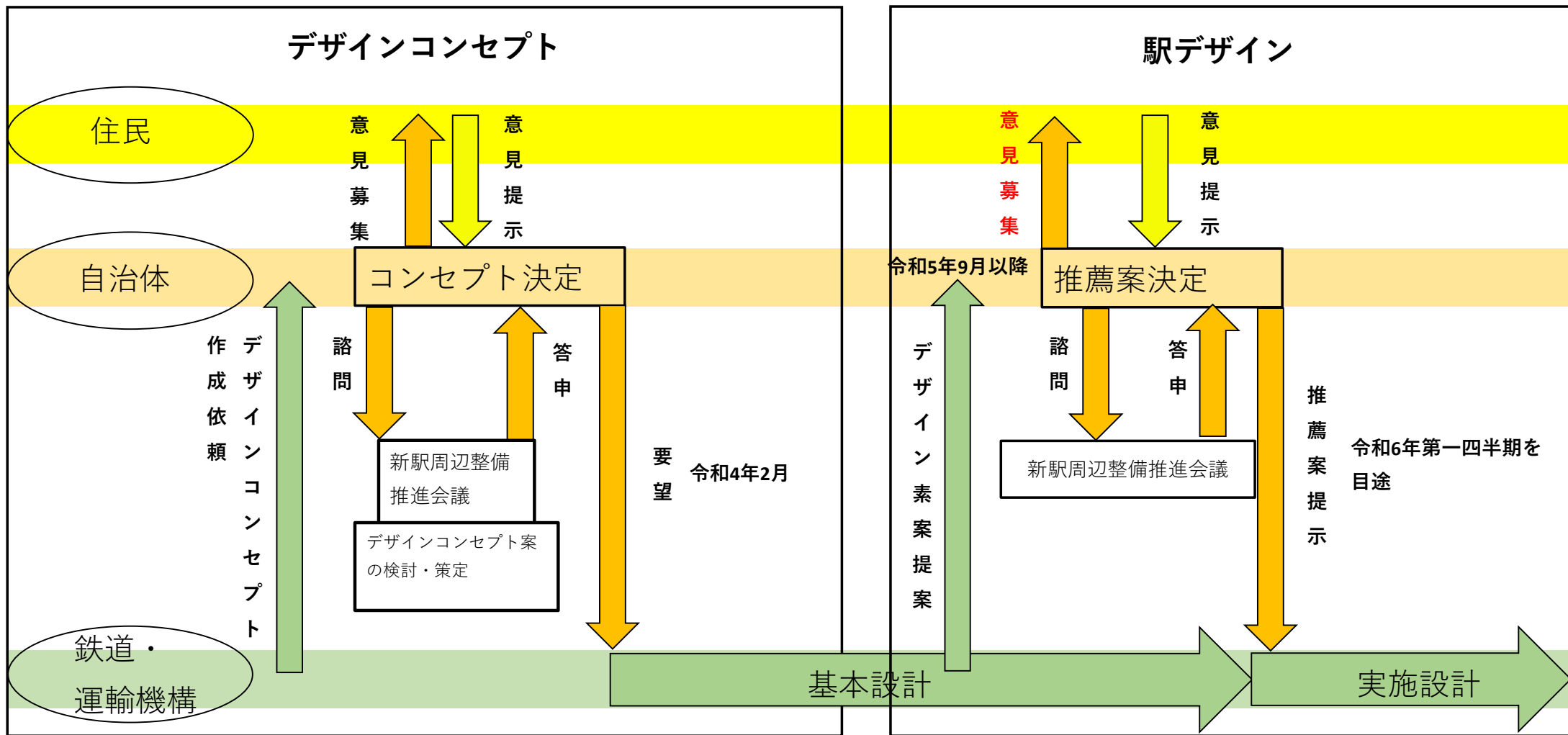


新駅舎デザイン決定方法について

1. 新駅デザインの決定フロー



2. デザインコンセプト要望書について（一部抜粋）

北海道新幹線新八雲（仮称）駅 デザインコンセプト 要 望 書



令和4年2月

北海道 二海郡 八雲町

北海道新幹線新八雲（仮称）駅舎の整備について

北海道新幹線新函館北斗・札幌間の整備については、令和12年度末の開業に向けご尽力賜り感謝申し上げます。

また、本町において、新幹線体験乗車ツアーを催した際、定員を大幅に超える申込みがあり、昨年については北海道新幹線開業5周年という記念の年となり、町民の新八雲（仮称）駅開業への期待も高まっております。

本町におきましては、平成17年に旧八雲町と旧熊石町が合併、日本で唯一の太平洋と日本海の二つの海を持つまち、二海郡八雲町として誕生しました。本町は、函館、室蘭より70km圏内に位置し、道央と道南、太平洋と日本海を結ぶ国道が通り、北海道縦貫自動車道八雲ICが在するなど交通の要衝となっており、国、北海道の行政機関の立地や商業の集積、八雲総合病院を中心とした地域医療により、広域的な中核都市としての役割を担っております。

新幹線新八雲（仮称）駅に係っては、平成12年3月、「新幹線八雲駅を核とした地域振興計画」の策定を皮切りに平成18年12月、「北海道新幹線新八雲（仮称）駅周辺整備構想」、平成28年2月、「北海道新幹線新八雲（仮称）駅等整備方針」、そして平成31年3月には「北海道新幹線新八雲（仮称）駅周辺整備基本計画」を策定しました。この基本計画では、道南北部の広域連携拠点を基本理念とし、駅周辺の風景に調和した「牧場の中にある駅」をキーワードに、土地利用計画、交通計画及び各種施設のデザイン計画等を含めた駅周辺地区の整備基本計画の具体的な方向性を示すこととしております。

このような状況の中、新八雲（仮称）駅は、太平洋と日本海の双方にまたがる本町の立地特性がより効果的に発揮され、医療、経済、産業など、より広域的、持続的な活性化に資するとともに、これからの施策を展開するうえで重要な役割を果たすことになるものであり、本町を象徴する駅となるよう大きく期待されております。

本町への来訪者が、八雲町へ来て良かった、全国的に見ても稀有な駅がある町、あえて降りたくなる町、また、再び八雲町を訪れたいと思ってもらえる。そして、町民が交流し、効率的かつ広域的な活動のスタート地点となる駅になることを願い、新八雲（仮称）駅舎のデザインコンセプトを別紙のとおり取りまとめましたので、駅舎の建築にあたっては、その内容を反映して下さるようお願い申し上げます。

令和4年2月

八雲町長 岩村 克昭

北海道新幹線新八雲（仮称）駅舎デザインコンセプト

牧場の中にある駅

～二つの海をもつ八雲の大地にたつ、牧歌的風景に調和したシンプルな駅～

附帯意見

- ・道南木材をふんだんに使用した温もりを感じ、木漏れ日が溢れる駅
- ・伝統的な牛舎を彷彿させ、北海道の大地を感じる駅
- ・駅舎内から広い視野で見渡せるガラス張りの駅
- ・シンプルで周囲の牧歌的風景に溶け込む駅

時代感	イメージ	形状	色合い	その他
伝統的	落ち着いた	シャープ	黄色	周囲の景観に溶け込む （目立たなくて良い）
近代的	親しみやすい	直線的	緑色	開放感溢れる
	故郷を感じる	シンプル	灰色	窓が大きく広い
	四季を感じる	スリム	濃灰色	サケが上る川が見える
	温もりのある			道南木材の使用
				バリアフリーに配慮

上表は、町内各産業団体、一般公募から組織された北海道新幹線新八雲（仮称）駅周辺整備推進会議の委員から「牧歌的風景」「牧場の中にある駅」とはどういったイメージを持っているかアンケートを取った結果でありますので、ご参考いただければと存じます。

なお、各委員からのアンケート回答（原文のまま）についても次ページに掲載しておりますので、併せてご参考いただければと存じます。

3. 新駅舎デザイン決定方法（案）について

案	対象者	意見募集方法	メリット	デメリット
①	全町民	アンケート等の実施 (広報でQRコードを付けて投票形式にする など)	・ 全町民に対して新八雲駅の周知も同時にできる ・ 客観的にどのデザインが良いかわかる	・ 回答率が低い可能性有 ・ 一人で何回も投票できる ・ 町民以外も投票できる
②	本推進会議の構成団体	本推進会議の 構成団体 に対し意見聴取	・ 事務的負担が比較的小さい ・ 確実に回答が得られる	・ 限られた意見となってしまう
③	本推進会議の構成団体＋高校生委員	本推進会議の 構成団体 ＋ 高校生委員 に対して意見聴取	・ 確実に回答が得られる ・ 若年層の意見も把握できる	・ 限られた意見となってしまう ・ 時間的制約がある
④	中高生	全中高生に対してアンケート実施	・ 次世代を担う若者の意見を反映できる	・ 大人の意見が反映できない

最終的に得られた意見等を参考にし、本推進会議で新駅舎デザイン案を町に答申し、町から機構へデザイン推薦案を提示する。

並行して、総務経済常任委員会（議会）へ報告。（デザイン素案提示後を想定）